



# 金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和2年 7月21日  
福島市立金谷川小学校  
校長 宍戸 与一  
児童数 81名

## 本物に触れる「体験」が視野を広げ、 知的好奇心を育む 6年「花育」学習 7月14日(火)

いろいろな経験をもつ人と対話したり、本や芸術で感動的な体験をすることによって、今までとは違う見方や考え方ができるように視野を広げることが、本人の成長や生き方に大きなプラスとなるはずです。



先日行われた「花育」(JA学校教育支援事業として、生け花体験をしました。)は、本物に触れる貴重な体験の場となりました。直接体験は、言葉の理解だけではなく、その場の空気を肌で、身体全体で感じることができます。自分を圧倒する力が、新たな価値を素直に受け入れる心も育みます。

子どものセンス、やっぱりすごいですね。みんな、中々の“腕前”でした。

## 授業参観 7月20日(月)

### ありがとうございました。

授業中のお子様の様子、いかがでしたか。  
朝から「今日は、授業参観、いやだなあ」  
「お母さん、仕事休んで来るんですよ」  
「ぼくは、全然気にしてない!」と、素直な心境を明かしてくれた子どもたちでした。



初めての授業参観【国語科】(1年生)

## お願い

児童の安全面を考慮して、体調不良等で早退する場合は、必ずお迎えにきていただいております。また、ご家庭の事情で早退する場合でも、安全面で心配があるため、お迎えに来ていただけるようご理解ご協力をよろしくお願いします。

## 自分に克つ!

「出口のないトンネル」はありません。出口へ向かって一步一步、歩を進めていきましょう。

子どもたちは、制約の中での生活を通して、自由の意味を、友達のかげがえのなさを知ることです。

よう。今の試練を乗り越えたとき、子どもたちは今まで以上に、強く、優しくなれると思います。そして、よりよき未来と社会づくりの担い手となってくれるはず。みんなの頑張りが必ず報われるときが来ます。“己に克つ!”であってほしいと願っています。